富田林発!

「商助」によるいのち輝く

未来社会の実現プロジェクト











大阪府富田林市

(1) 富田林市の現況・課題

提案書:P2~3

- 資源は、富田林寺内町やなす等の農業、製造業・医療・福祉等の産業、大学立地等。
- 平成14年のピーク時以降、人口減少・少子高齢化が続いており、特に20・30歳代の若年層の転出超過が顕著。

(2020年1月時点で、人口110,919人、高齢化率29.9%)

- 今後もこの状況が続けば2030年に99,070人、2060年に60,660人まで減少し、少子 高齢化もさらに進行すると推計。
- 持続可能な地域社会を形成していくためには、<u>地域やまちづくりの担い手確保と、</u> あらゆる主体間の相互連携・協力の加速化が重要。



今後、取り組む課題は・・・

マルチパートナーシップの創出

- ・多様な主体の参画 機会の確保
- ・主体間の役割分担と 相互理解
- ・市民協働・公民連携 民民連携



社会・経済・環境の「健康」づくり

- ・あらゆる主体が活躍できる
 - 社会の「健康」づくり
- ・産業創出や雇用確保等、 経済の「健康」づくり
- ・低炭素化の推進等、 環境の「健康」づくり



(2) 富田林市におけるSDGs (モデル事業の背景)

提案書: P8~18

①**富田林版SDGs取組方針**(2019年7月策定)

市独自にSDGsの実現に貢献するため、市が取り組 む3つの基本的方向を定め公表。

基本的 方向1

SDGsの理念の理解促進

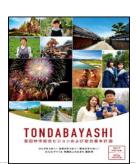
市政におけるSDGs要素の 基本的 方向2 反映

方向3

SDGsを介した様々な連携の 創出

②富田林市総合ビジョン・総合基本計画 (2017~2026年)

最上位計画の総合ビジョン・総合基本計画について、各施策とSDGsの ゴールとの紐づけを完了している。また、アクションプランとなる実 施計画を策定・公表し、各種事業を通じて、全市的にSDGsを推進する こととしている。





③富田林市公民連携デスク(2019年10月設置)

公民連携に係るワンストップ窓口として、市役所内に設置。人口減 少・高齢化等を背景にまちづくりの担い手確保が課題となる中、多様 なステークホルダーとのWIN-WIN連携による課題解決を進める (すで に約10社と協定締結)。



(3) 自治体SDGsモデル事業 (概要)

富田林発!「<u>商助</u>」による いのち輝く未来社会の実現プロジェクト



提案書:P19~28

統合的取組

<u>いのち輝く</u> <u>"まちまるごと"</u> 健康プロジェクト

キーワードは **商助**!





富田林市SDGs パートナーシップ制度

> 富田林市 公民連携デスク

経済 「健康」をキーにした産業の創出と活性化

- ①**地域資源をつなぐウェルネストレイル事業**(⇔地域団体等)
- ②SDGs金融による地域活動の活性化 (⇔金融機関)
- ③地域企業への健康経営の普及促進(⇔明治安田生命)
- **④ものづくり企業への補助充実**(⇔ものづくり企業)





🚼 健康寿命の延伸と増進型地域福祉の実現

- ①医療・介護連携による地域包括ケアの実現(⇔TOMAS)
- ②**学生が講師の健康事業**(⇔大阪大谷大)
- ③スポーツ・食の多世代健康教育(⇔大阪ガス・マクドナルドFC法人等)
- ④"増進型地域福祉"に向けた 「校区担当職員」制度

(⇔地域コミュニティ)

(⇔市民・不動産事業者等)



▋健康増進のためのエコロジータウンの形成

- ①地域連携サポートプランと地域公共交通の実践(⇔近畿運輸局)
- ②配水池設置型の小水力発電事業(⇔㈱DK-Power)
- ③とんだばやしプラスチックごみゼロ宣言(⇔地域小売店)
- ④家庭用燃料電池・太陽光発電システム設置補助



(4) 統合的取組(補助対象事業)_全体像

提案書:P29~30

いのち輝く"まちまるごと"健康プロジェクト

①「商助」による持続可能なエコシステム構築事業

- ・店舗や福祉施設等を活用した有償型健康事業の実施
- ・健康活動拠点として民間施設等の環境整備

(15,000千円)

富田林市産官学医包括連携協定(TOMAS)

富田林市・大阪大谷大学・富田林医師会・アルケア(株) (2019年11月協定締結)

②学生派遣による実学経験(PBL)事業

- ・健康事業の担い手として大谷大学生の育成事 業を実施
- ・「富田林応援団」としての登録と活用(関係 人口)

(4,800千円)

③健康・環境×SDGs普及啓発事業

地域企業・団体等の参加によるイベント事業で、ロールモデルの横展開と民民連携の促進

(10,495千円)

付加価値創出・活動の活性化

連携創出・取組の加速化

富田林市SDGsパートナーシップ制度

富田林市公民連携デスク

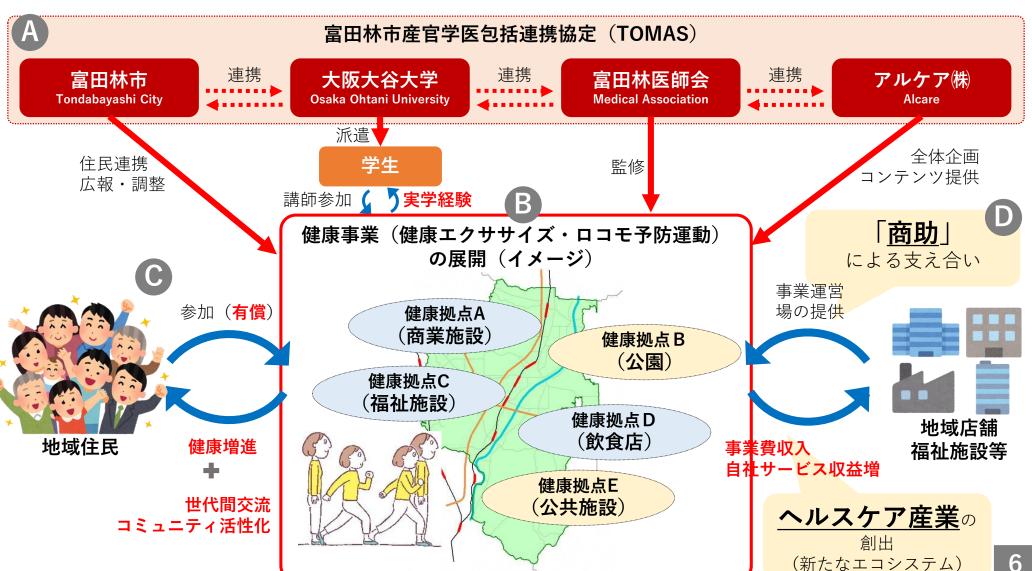
(2020年設計予定)

(2019年7月設置済)

(4)統合的取組(補助対象事業)

提案書:P30~31

「商助」による持続可能なエコシステム構築事業



(4)統合的取組(補助対象事業)

②学生派遣による実学経験(PBL)事業

大阪大谷大学

Osaka Ohtani University

スポーツ健康学科等の学生

ステップ1

「あすラクからだ教室

@大阪大谷大学

(2019年6~11月)

- ・効果検証
- ・メソッド確立



ステップ2

有識者・企業 人材等に よる育成研修

実証

- ・指導方法習得
- ・健康事業の"経営 運営"手法の学習

・世代間交流

ステップ3

地域における健康事業 の講師実践

(健康エクササイズ

・ロコモ予防運動)

実践

・実学経験 (Project Based Learning)



ふるさと応援団

提案書:P32~33

登録

(関係人口)

展開

医療・介護 分野等、地域での 起業・就労

(4)統合的取組(補助対象事業)

③健康・環境×SDGs普及啓発事業

SDGsカードゲーム型研修(市民等)

富田林版SDGsアイデアソン事業

(市民・職員合同)

地域

企業

市民

富田林版SDGsアイデア募集

(地域事業者・団体・学生・関係人口等)

シンポジウム開催 (ステークホルダーが出会いつながるプラットフォーム)

- ・アイデア発表とコンテスト
 - ・地域企業・団体等による活動発表
 - ・参加者同士のマッチング機会

域外 企業

SDGs機運醸成・ロールモデル横展開 <u>民民連携によるイノベーション創出</u>

地域

団体

提案書:P33

(5)経済、社会、環境の相乗効果

提案書:P34~36

経済

(社会→経済)

- ・ヘルスケア産業や健康市民増加で経済活性化
 - 「食」がテーマの健康事業による地域食材等、 域内消費の活性化
 - ・商助による健康増進
- ・産業・雇用活性化による人の流入と若者定着 3
 - ・健康経営による若者・女性を含めた生涯活躍

(経済→社会)

(経済→環境)

- ・トレイル事業等に伴う環境整備
- ・企業等による環境分野の新たな担 い手確保
- (環境→経済)
- ・環境分野の企業・生産者等の活躍 による経済活性化・雇用創出
- ・新たな公共交通による経済活性化

いのち輝く <u>"まちまるごと"</u> 健康プロジェクト

(TOMAS連携)

(社会→環境)

- ・健康市民や企業等の担い手確保
- ・脱自家用車で低炭素化
- ・健康事業による環境意識の醸成

(環境→社会)

- ・公共交通による生活環境向上
- ・低炭素化による健康増進
- ・ウォーカブルタウンによる健康増 進やコミュニティ活性化

環境

社会

(6) 自律的好循環の仕組み

提案書:P39

人口流入・雇用創出・

若者定着・経済活性化・

まちづくりへの民間参入促進

→地方創生の実現

社会・経済・環境分野 の底上げ

→SDGsモデル事業の 推進

5

- 市 ・初期投資
- ・企画管理

6

・広報・調整

市民

- ・参加費負担
- ・各分野への担い手化

TOMAS連携による いのち輝く"まちまるごと" 健康プロジェクト

大阪大谷大

- 学生人材派遣
- ・学生の関係人口 化

企業・団体

- ・場やコンテンツ 提供
- ・各分野への担い手化

TOMAS健康事業の 活性化

→参加市民の増・ 地域事業者の参入増

金融機関

- ・ESG金融(融資)
- ・私募債発行

富田林市 公民連携デスク

富田林市SDGs パートナーシップ制度

(2020年度運用開始)

健康市民の増加 へルスケア産業による 企業・団体等の経営健康化

TOMAS健康事業の 発展的自走運営

10

最後に…

「ひと」と「まち」の「健康」増進に向け、 全国のモデル事業として取り組んでまいります!











